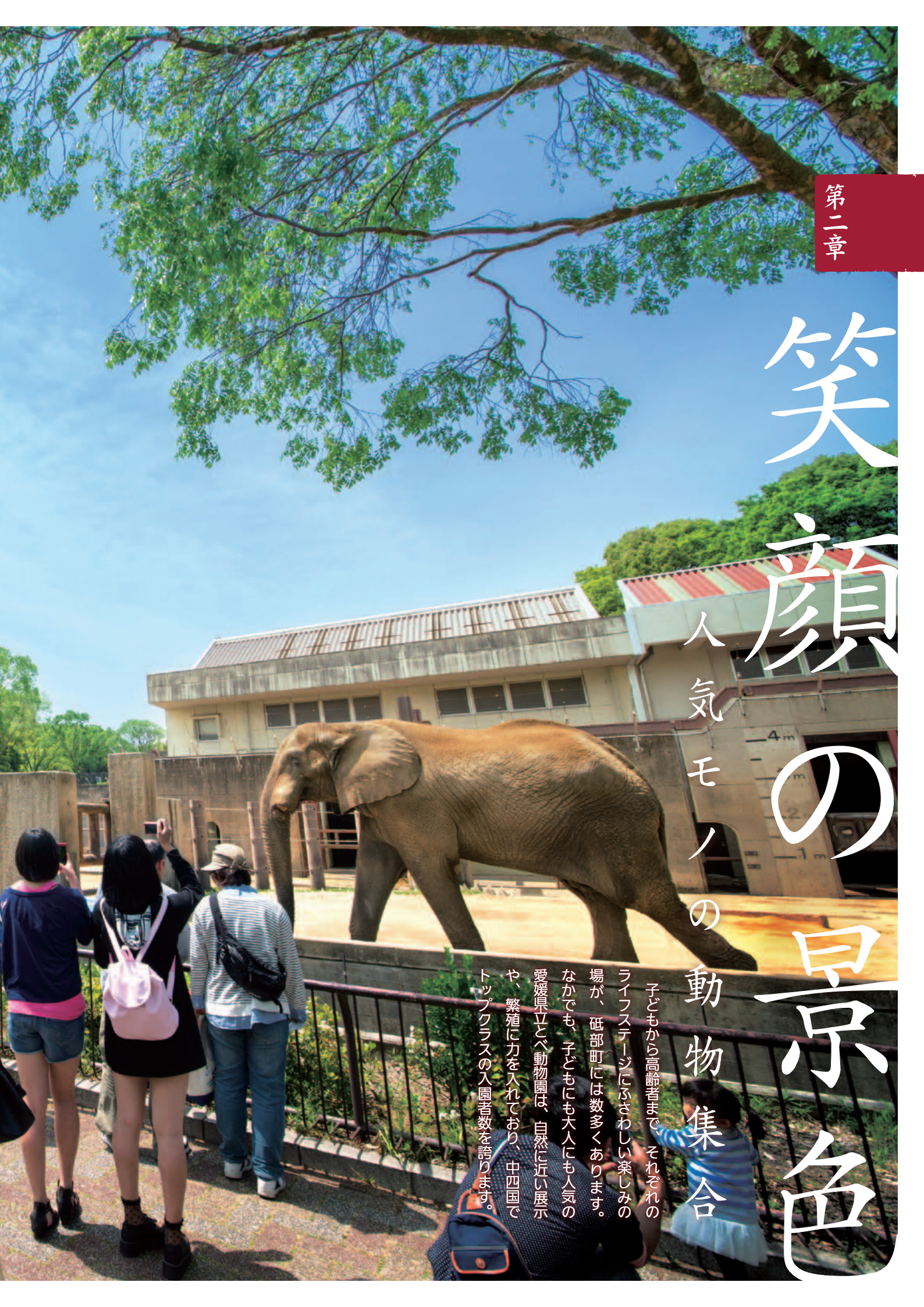


笑顔の 景色

人気モノの動物集合

子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージにふさわしい楽しみ場の、砥部町には数多くあります。なかでも、子どもにも大人にも人気の愛媛県立とべ動物園は、自然に近い展示や、繁殖に力を入れており、中四国でトップクラスの入園者数を誇ります。



緑の中でのびのび暮らす動物たち

愛媛県立とべ動物園

西日本屈指の規模

約11haという西日本屈指の規模をもつ県立とべ動物園。前身は昭和28年に開園した道後動物園で、昭和63年、砥部の地に移されました。開園から四半世紀が過ぎた現在、年間入園者数が中四国でトップクラスという人気の動物園に成長。169種781点（平成26年12月末現在）の動物たちがバランス良く集められ、ゾーンを巡ることで動物の国の世界一周旅行ができる仕組みです。各ゾーンには観察ポイントが記された案内板や解説パネルが設けられ、より楽しめるよう配慮されています。

同園では繁殖にも力を入れています。日本初の繁殖成功例も多く、ことに平成11年生まれのホッキョクグマの「ピース」、同18年生

まれのアフリカゾウ「媛」は国内で初めての人工哺育成功例として注目されました。現在、国内で唯一アフリカゾウの親子が見られる動物園として人気を集めています。

平成26年にはレッサーパンダ、カリフォルニアアシカなどが誕生したほか、繁殖を目的とする「チンパンジーの森」も新設され、今後もおめでたニュースが続きそうです。

同園では動物たちの行動を間近に見ることができます。強化ガラス越しに迫力ある姿が見られるライオン舎や、地上11mの高さで綱渡りするオランウータンを観察できる「スカイウォーク」、愛媛の里山をイメージした「バードパーク」、樹上での生活を見られる「チンパンジーの森」など、動物たちののびのびとした姿に触れることができます。



01



02



03

- 01 日本初の人工哺育が話題となったピースは平成11年生まれ
- 02 鳥を間近で観察できる「バードパーク」。県内に棲息や飛来するカモ、サギ、キジ類が見られる
- 03 平成26年10月新設の「チンパンジーの森」。繁殖を目的に造られた

夜の動物園



異色の催しとして人気があるのが夜の動物園です。8月～10月の土曜の夜限定のイベントには、普段は見られない動物たちの姿を見ようと、平均で毎回3,000～4,000人の来園者が訪れます。入園口にはイルミネーションが輝き、幻想的な雰囲気包まれるこの取り組みは、平成16年に始まりました。

Many Popular Animals

Tobe Zoological Park of Ehime Prefecture is one of the largest zoos in western Japan and exhibits animals in a natural environment. It also focuses and specializes in breeding. The Polar Bear "Peace" and the African Elephant "Hime", brought attention as the first success cases in hand-rearing in Japan.

「媛（ひめ）」に続いて「砥夢（とむ）」「砥愛（とあ）」が誕生、アフリカゾウの親子が見られる国内唯一の動物園として人気

スポーツと文化の拠点

陶街道ゆとり公園

スポーツとレジャーの総合公園

およそ14haの広さがある「陶街道ゆとり公園」は、平成23年4月に「砥部町総合公園」から名称を変更しました。

バレーボールコートが3面とれる体育館、全天候型人工芝のテニスコート（4面）のほか、ソフトボールやサッカーができる多目的広場、大型ローラー滑り台や複合遊具のあるあすなろ山、70台のおもしろ自転車で遊べるわんぱく広場など、多様な施設が揃っています。

小高い丘にある公園からの眺めは抜群。春の花見をはじめ、四季折々の情景を家族揃って楽しむことができます、町民の憩いの場として親しまれています。



01

えひめ国体 バドミントン 競技会場に

平成29年に愛媛県で開催される「愛媛つなぐえひめ国体（第72回国民体育大会）」のバドミントン競技が、同園体育館で開催されます。また、同園多目的広場では、「愛媛つなぐえひめ大会（第14回全国障害者スポーツ大会）」のグランドソフトボール競技が開催されます。

砥部町では国体推進課に町実行委員会事務局を設置。国体に向けて、体育館アリーナの照明のLED化や床、外壁、内装の改修も行われ、選手・監督をはじめ、全国各地から訪れる皆さまをお迎えする準備が着々と進められています。



03



02



04

- 01 「えひめ国体」のバドミントン競技会場になる体育館アリーナ
- 02 多目的広場で開催されるスポーツまつり。ここでは、「愛媛つなぐえひめ大会」グランドソフトボール競技会場として使用することが決定している
- 03 体育館外観
- 04 おもしろ自転車があるわんぱく広場には子どもたちの歓声が響く



01

砥部町文化会館

芸術・文化の発信 生涯学習の活動拠点

平成13年に開館した砥部町文化会館は、804席の「ふれあいホール」を中心に、名優・井上正夫の資料展示室、図書館、郷土資料展示室、視聴覚室、大小会議室などが完備された複合施設として、各種イベントのほか、文化創造活動や伝統芸能の保存伝承活動などに利用されています。

車椅子席・親子席もある「ふれあいホール」は音響性能に優れ、演劇、演奏会、講演会など多用途に使われています。また、甘く艶やかな音色のピアノの名器スタイルウェイのあるホールとしても知られています。

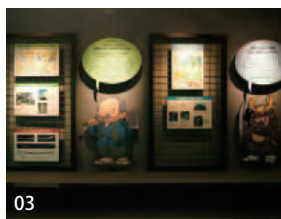
また、図書館には9万5,000冊（平成26年3月末現在）を超える蔵書があり、年間のべ5万人を超える利用者がいます。一般図書のほか児童書、雑誌、ビデオやCDも用意されており、幼児向けの工夫をこらしたおはなし会など多彩なイベントも好評です。

column 書画も たしなんだ 名優



04

大南出身の井上正夫は、抜群の演技力で舞台、映画にと活躍。井上演劇道場で鈴木光枝、岡田嘉子らを育てました。顕彰のため結成された「井上正夫会」では、命日の2月7日を「如月忌」として毎年法要を続けており、砥部小有志による墓所の清掃も行われています。中通の出生記念碑のほか、砥部町文化会館前と松山市駅前に胸像（伊藤五百亀制作）があります。
井上正夫（本名・小坂勇一）1881～1950年



03



02

- 01 音響効果に優れ、客席最後部まで舞台の肉声が届くホールは、演劇、講演会、演奏会などに広く活用される
- 02 砥部町文化会館外観
- 03 砥部の歴史を紹介する郷土資料展示室
- 04 井上正夫資料室では、出演作のポスター、台本、ユーモアあふれる書簡や書画などを展示

平成19年に設立された「砥部町文化会館友の会」では、談話会「砥部12か月ーこの町の魅力ー」など自主企画を通して、同館を支えるとともに地域文化の振興に努めています。

Sports and Cultural Facilities

The Tokaido Yutori Park is a multipurpose park for enjoying sports and leisure. This will be the site for The badminton event at the Ehime National Athletic Meet to be held in 2017. The Tobe Town Cultural Hall is the base for life-learning activities, where there is an event hall, a library and a material exhibition room.

交流とにぎわいの拠点



01

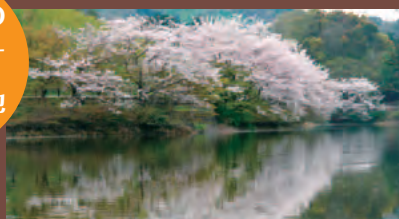
えひめこどもの城・とべ温泉湯砥里館 笑顔あふれる遊びの王国

県立の大型児童館「えひめこどもの城」は、砥部町と松山市にまたがり、約35haの広大な敷地を有します。あいあい児童館を中心とした「こどものまち」、じゃぶじゃぶ水路が楽しい「イベント広場」、陶芸や木工体験ができる「創造の丘」、てんとう虫のモノレールが待つ「冒険の丘」、自然散策を楽しむ「ふれあいの森」と、5つのゾーンが子どもたちを迎えます。創造の丘の陶芸コーナーでは、小さな子どもも砥部焼作りが体験でき、とても人気です。

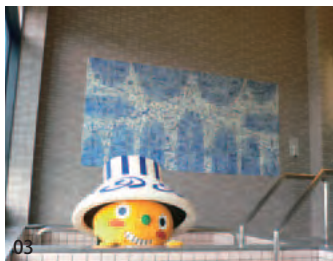
お肌すべすべの「美人の湯」

平成5年開館の「とべ温泉・湯砥里館」は、良質のナトリウム泉のため肌がすべすべになる「美人の湯」で知られます。気泡・サウナ・水の3種類の風呂があります。軽食コーナーや休憩室もある、温もりとくつろぎの施設です。

季節の 彩りを映す 通谷池



えひめこどもの城に隣接する通谷池は、江戸時代の寛政5年（1793）に農業用の灌漑用水として造られたため池です。町内でも一、二を争う面積があり、昔話にも登場するほど親しまれた池は、先年、農林水産省の“ため池百選”に認定されました。春は満開の桜、秋は紅葉と、四季の彩りを水面に映し、散策コースにも最適です。



03



02

01 西洋のお城のような「あいあい児童館」は建物全体が遊び場

02 「とべ温泉・湯砥里館」

03 「とべ温泉・湯砥里館」の浴室には大きな陶壁画「砥部更紗文」が飾られている



02



01

- 01, 02 道の駅ひろた「峡の館」は平成12年に開館。季節ごとのイベントも多彩に行われている
- 03 ひろた交流センター外観
- 04 毎年3月に、ひろた交流センターで開かれる「広田地域芸能発表会」

広田地区公民館と砥部町役場広田支所を統合した施設「ひろた交流センター」は平成22年3月にオープン。鉄骨2階建ての建物は、地域防災拠点としての機能も備えています。1階に調理実習室や児童ルーム、2階はホールと和室があり、地域住民の交流と文化活動の場として活用されています。

支所と公民館機能を統合した交流拠点

道の駅ひろた「道の駅」は、道路利用者のための休憩と情報発信、地域の連携機能を目的に設置されました。「峡の館」には農産物直売所のほか、研修や会合に便利なオープンスペースも備えています。特産のシイタケ、自然薯のほか、新鮮な農産物を求めて都市部からのお客さんも多く、広田地区の魅力発信の場にもなっています。

道の駅ひろた・ひろた交流センター 都市と農村の交流と地域の魅力発信

道の駅ひろた「道の駅」は、道路利用者のための休憩と情報発信、地域の連携機能を目的に設置されました。「峡の館」には農産物直売所のほか、研修や会合に便利なオープンスペースも備えています。特産のシイタケ、自然薯のほか、新鮮な農産物を求めて都市部からのお客さんも多く、広田地区の魅力発信の場にもなっています。

Column
大人も乗れる列車「ひろたん号」



道の駅ひろた「峡の館」の一帯は、かつて銅鉱石の採掘が盛んでした。鉱石を運搬するために使われたトロッキ列車にちなんで登場したのが「ちびっこ列車ひろたん号」（無料）。乗車を希望する際は峡の館まで。



04



03

Base of Exchanges and Bustle

"Ehime Children's Playground," a large children's hall of Ehime and "Tobe Hot Spring Yutori-kan," famous for its beauty-making springs are crowded with locals and tourists. "Michi-no-eki, Hirota Kyo-no-yakata" and "Hirota Exchange Center," located in Hirota District serve as exchange bases.

夢を描く 若者たち



01

愛媛県立医療技術大学

**医療分野で活躍する人材の育成
抜群の国家試験合格率を誇る**

愛媛県立医療技術大学は、医療分野における専門的な学識と技術を持った優秀な人材を社会に送り出すことを目的に設立されました。

昭和63年の開学当初は短期大学でしたが、平成16年に4年制大学となり、10年後の平成26年にはさらに大学院を開設、研究面においても活発で充実した大学へと発展を遂げつつあります。

大学は、保健科学部に看護学科と臨床検査学科の1学部2学科で構成されます。県内唯一の助産師養成機関である助産学専攻科をはじめ、看護、保健科学など高度な専門的知識と技術を学ぶ大学として、国家試験合格率、就職率とも毎年ほぼ100%という高水準を誇っています。

同大は、地域住民を対象に高齢者介護講座などを開く地域交流センターや、学外の人も利用できる図書館などを備え、地域に開かれた大学を目指しています。

column 引く手 あなたの 卒業生

社会のニーズに応える優秀な人材育成を目的に開設された同校は、開学からこの間、着実な歩みで実績を上げてきました。

平成26年3月卒業の学生の国家試験合格率は、看護師98.4%、助産師100%、保健師95.2%、臨床検査技師100%。そして就職率は100%を記録。卒業生の多くが社会の中堅として活躍しています。



03



02

01～03 毎年10月に開催される学生祭では、仮装大会や手話コーラスなどイベントも多彩。手話やボランティアなどサークル活動も活発に行われている



愛媛県立松山南高等学校 砥部分校デザイン科

県下唯一のデザイン科として、
瑞々しい感性と優れた技術を育む

「さわやかな目・豊かな心・確かな手」を指導
目標とする愛媛県立松山南高等学校砥部分校。
昭和23年、当時の砥部中学校校舎に開校した定
時制普通科の県立砥部高等学校が前身です。

昭和37年に全日制の愛媛県立松山南高等学校
砥部分校（工芸科・家政科）となり、その後
家政科は廃止、工芸科はデザイン科に改称され
ました。昭和61年に現在の岩谷口に新築移転し
ました。

同校ではグラフィックデザインとクラフトデ
ザインを中心に専門的な学習を行っています。
選挙啓発ポスターや人権ポスターなど県内外の
コンクールにも積極的にチャレンジし、大賞を
含む数多くの受賞作を生みだしています。

アートフルな環境でみっちり学んだ3年生は、
学習の総仕上げとなる愛媛県美術館での卒業制作
展に向けて6コースに分かれ、培った技術と知識
を示すことなく発揮して制作に取り組みます。

- 01 3年間の思いが詰まった卒業制作展。砥部分校で磨いた感性と技術がきらめく
- 02 瑞々しい感性が光る文化祭での作品展示
- 03 砥部焼作家の指導のもとで焼き物も作っている
- 04 登窯と水車が描かれた校舎の陶壁画はデザイン科のシンボル

column

大宮八幡宮 への 絵馬奉納



干支を描いた巨大な絵馬が、毎年、地元の
大宮八幡宮に奉納されます。

タテ3m、ヨコ3.6mの絵馬は、同校美術
部員が制作したもので、年末に奉納され、
境内で1年間飾られます。奉納は平成18
年に始まりました。



University and High School Specialized Education

The Ehime Prefectural University of Health Sciences provides the specialized skills in medical fields such as nursing and clinical testing. Ehime Prefectural Matsuyama South High School Tobe Branch features development of a fresh sense of the creative arts as the only high school having a department of design in the Prefecture.